

図書館だより

枚方市立図書館通信第 124 号 <http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/citybrand-kyouikubunka/tayori.html>

発行：平成 29 年 3 月 枚方市立中央図書館（休館日：毎週金曜日、3 月 28 日火曜日）

〒573-1159 枚方市車塚 2-1-1 TEL 050-7105-8141(代) FAX 072-851-0962

3 月号



ブックトーク研修会、講師：土居安子さん（大阪国際児童文学振興財団）、2 月 7 日、中央図書館にて

子どもに本を届ける基金 12 月末現在約 560 万円、次年度以降活用へ

香里ヶ丘図書館建替え基本計画市民アンケート及び、

第 3 次枚方市子ども読書活動推進計画パブリックコメントの結果を公表

●子どもに本を届ける基金への寄附（現金・寄贈図書販売利益）の積立額が昨年 12 月末現在で約 560 万円となりました。●昨年 12 月 1 日～20 日に実施した「香里ヶ丘図書館建替え計画市民アンケート」「第 3 次枚方市子ども読書活動推進計画パブリックコメント」の結果を公表しました。寄せられたご意見に対して枚方市の考えを回答したものです。主なご意見として、香里ヶ丘図書館については収蔵能力や開架冊数、建物のデザインや運営体制に関するものが多くありました。子ども読書活動推進計画については、児童サービスの重要性への職員の意識向上に関するものがありました。●「第 3 次枚方市子ども読書活動推進計画」については 3 月末に策定し、4 月以降公表します。香里ヶ丘図書館については、専門家 5 人によるプロポーザル方式での設計選定を行い、平成 30 年度から平成 31 年度に建替工事、平成 32 年度に再開館の予定です。

ヘッドライン・ニュース

3月12日日曜日

市駅前サテライト業務終了

12 年間ご利用いただきましたが、関西医科大学との施設賃貸契約が満了することにより、業務を終了いたします。4月1日土曜日からラポールひらかた1階にて予約資料の受け取りに特化した「市駅前サービススポット」を開設いたします。利用時間は、平日午前9時～午後7時、土日祝午前10時～午後6時、定休日は第2日曜日、年末年始です。

3月12日日曜日3時～4時

平和・ライブラリー・コンサート

戦前の枚方市には、火薬製造所など旧陸軍施設が3か所もあり、その一つ禁野火薬庫が1939(昭和14)年3月1日に大爆発を起こし、約700人もの死傷者を出しました。1982(昭和57)年に大阪府内で初めて「非核平和都市」宣言、爆発から50年後、1989(平成元年)に、3月1日を「枚方市平和の日」と定め、毎年さまざまな記念行事を行っています。

人権政策室主催の平和資料室(中央図書館1階)での特別展に協賛してコンサートを開催します。



出演:枚方演奏家クラブ

写真左から、大迫朋子さん(ピアノ)、山添 悟さん(サクソフォン)、神野朋子さん(フルート)さん

曲目:エリーゼのために、「歌の翼」による幻想曲、

A列車で行こう、サウンド・オブ・ミュージック他

朗読:図書館職員

会場:枚方市立中央図書館正面ロビー

入場無料 *手話通訳があります。

*ロビーコンサートのため、多少の騒音があります。

ちょっと本の紹介

『かんさい絵ことば辞典』

ニシワキ タダシ／著 パイ・インターナショナル

インターネットの普及で聞きなれない「ネット語」も日常会話にたくさん入ってきていて、とまどう時もありますが、方言は原点。この本で時々かえりましょう。まだまだ生きていることばが、くすっと笑えるイラストとともに紹介されています。「かんさいことば」ネイティブの方に



は物足りないかもしれません。人生の途中から関西人となり「かんさいことば」に驚いた人には見直しのテキストとして、世代間の「かんさいことば」の翻訳書として、おすすめです。お孫さんやお子さんと読むと、意外な言葉が「かんさいことば」であるなど、新しい発見があって楽しめます。文字で残しにくい独特のイントネーションは語り継ぎたい財産です。ぜひ声に出して読み合ってください。(津田図書館職員)

★3月18日は点字ブロックの日★

点字ブロックは今からちょうど50年前の1967年3月18日、岡山盲学校付近の交差点に世界で初めて敷設され、この日を記念して「点字ブロックの日」が定められました。



点字といえば、皆さんにぜひ知っていただきたいものがあります。「点字つき さわる絵本」です。

中央図書館2階「こどものフロア」では、『ぞうくんのさんぽ』『ぐりとぐら』『ノンタン じどうしゃぶつぶー』『こぐまちゃんとうどうぶつえん』など、目で見ても、手でさわっても楽しめる絵本12冊を揃えていますので、ぜひご利用ください。

(中央図書館 障害者・高齢者サービス担当)